

# 令和6年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農 業	科目名	野菜	単位数	2	履修学年・クラス	2A
担当者	使用教材			野菜(実教出版)			
<b>学習目標</b>	○野菜の植物的特性や食生活における価値、農業の中での重要性などを理解する。 ○栽培や観察など体験的な学習を通して栽培管理の基本を理解し、栽培できる能力を養う。 ○調査や実験を通して科学的に考える力や問題を解決する能力を高める。 ○生産物の商品化や流通について基本的事項を理解し、経営に応用する資質を養う。						
<b>学習方法</b>	野菜への興味・関心を喚起するため、自ら実施・体験できる農場実習を多く配分し実践する。 座学では、教科書を基本に各野菜の栽培技術を理解させ、自ら栽培できる力を修得する。 施設野菜の水耕栽培(トマト)をおこない、土耕栽培との違いを観察し理解を深める。						
<b>学習評価</b>	<b>評価の観点</b>		<b>科目の評価の観点の趣旨</b>				
	<b>知</b>	<b>知識・技能(技術)</b>	農業と環境に関心を持ち、その生理的特徴について深く理解しようとしている。また、栽培に必要な基礎的技術をみにつけようとしている。				
	<b>思</b>	<b>思考・判断・表現</b>	栽培や環境に関する諸課題を科学的にとらえて合理的に思考する能力を身に付けている。				
	<b>態</b>	<b>主体的に取り組む態度</b>	栽培と環境の関係性を理解し、生産性や品質の向上が経営につながることを理解している。				
定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							
学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
前期 中間	第1章 野菜生産の役割と動向	野菜の種類と利用 野菜の消費 野菜の生産と供給 野菜の安定性	○	○	○	[知]栽培の学習を通じて基本的な事柄について正しく理解し知識を身に付けている。 [思]栽培や学習した事柄を元にして総合的に考えることができる。 [態]学習内容に対して興味・関心を持ち、探求しようとし、問題を提起したり学習に意欲的に取り組むことができる。	・定期考査 ・授業観察 ・課題提出
	第2章 野菜の生育特性と栽培環境の調節技術	野菜の生育と生理 野菜の栽培環境と生育調整 人工環境における栽培技術	○	○	○		
前期 末	第3章 野菜の品種改良の基礎	品種改良の目的と方法 育苗の目的と方法 育苗技術の実際と応用	○	○	○	[知]栽培の学習を通じて基本的な事柄について正しく理解し知識を身に付けている。 [思]栽培や学習した事柄を元にして総合的に考えることができる。 [態]学習内容に対して興味・関心を持ち、探求しようとし、問題を提起したり学習に意欲的に取り組むことができる。	・定期考査 ・授業観察 ・課題提出
	第4章 果実を利用する野菜の栽培	トマト 栽培方法の比較試験 スイートコーン スイカ	○	○	○		
後期 中間	第5章 葉や茎を利用する野菜栽培	ハウレンソウ コマツナ	○	○	○	[知]栽培の学習を通じて基本的な事柄について正しく理解し知識を身に付けている。 [思]栽培や学習した事柄を元にして総合的に考えることができる。 [態]学習内容に対して興味・関心を持ち、探求しようとし、問題を提起したり学習に意欲的に取り組むことができる。	・定期考査 ・授業観察 ・課題提出
	第6章 根を利用する野菜の栽培	ダイコン ニンジン	○	○	○		
後期 末	第7章 野菜の流通と経営改善	野菜の流通と鮮度保持 指定野菜と産地 加工・業務用野菜 普及するカット野菜や冷凍野菜 野菜生産の経営改善 消費者が要求する野菜とは	○	○	○	[知]栽培の学習を通じて基本的な事柄について正しく理解し知識を身に付けている。 [思]栽培や学習した事柄を元にして総合的に考えることができる。 [態]学習内容に対して興味・関心を持ち、探求しようとし、問題を提起したり学習に意欲的に取り組むことができる。	・定期考査 ・授業観察 ・課題提出